

# 令和4年度 香川県職業能力開発審議会議事録

日時：令和4年12月26日（月）

14時00分～15時00分

場所：県庁本館12階 大会議室

## 1 会議の日程及び場所

日時：令和4年12月26日（月）14時00分～15時00分

場所：県庁本館12階 大会議室

## 2 出席委員

〔学識経験者委員〕

西中美和会長、梶島岳夫委員、川崎聡委員、佐藤扶美子委員、澤田功委員

〔事業主代表委員〕

白井正人委員、白石幸一委員、古川俊文委員

〔労働者代表委員〕

増田さつき委員、渡辺康雄委員

以上、香川県職業能力開発審議会委員15人中10人の出席につき、香川県職業能力開発審議会条例第5条第2項に定める「委員の2分の1以上」の出席の会議開催要件を充足した。

西中会長が、白石委員及び渡辺委員を議事録署名人に指名した。

## 3 議題

(1) 高等技術学校職業訓練実施状況について

(2) 第11次香川県職業能力開発計画（数値目標）の進捗状況について

(3) その他

## 4 議事録

議題 (1) 高等技術学校職業訓練実施状況について

●議長が「職業訓練の概要」及び「職業訓練の実績」について事務局に説明を指示した。

●事務局が配付資料に基づき説明した。

・職業訓練の概要【資料1-1、1-2、1-3】

・職業訓練の実績【資料2-1、2-2、2-3】

●議長が、委員に事務局の説明に対する質疑を求めた。

(委員) 特になし

●議長が「職業訓練の見直し」について事務局に説明を指示した。

●事務局が配付資料に基づき次の3件の内容について説明した。

・電気工事科とビル設備管理科の統合について（令和5年度～）【資料3】

・自動車工学科の定員の見直しについて（令和6年度～）【資料4】

・在職者訓練における訓練コースの見直しについて（令和5年度～）【資料5】

●議長が、委員に事務局の説明に対する質疑を求めた。

(委員) 特になし

## 議題 (2) 第 11 次香川県職業能力開発計画 (数値目標) の進捗状況について

- 議長が事務局に説明を指示した。
- 事務局が配付資料に基づき次の 2 件について説明した。
  - ・第 11 次香川県職業能力開発計画の概要【資料 6】
  - ・第 11 次職業能力開発計画 (数値目標) の進捗状況【資料 7】
- 議長が、委員に事務局の説明に対する質疑を求めた。

(委員) 特になし

## 議題 (3) その他

- 議長が「高等技術学校の愛称設定」について事務局に説明を指示した。
- 事務局が、全都道府県の職業能力開発校における愛称の設定状況について資料 8 に基づき説明した。高等技術学校においても認知度向上等を目的として愛称を設定することとし、決定過程も含めて高等技術学校の周知啓発につなげるため公募の方法を取ることにについて説明のうえ、委員へ協力を依頼した。
- 議長が、委員に事務局の説明に対する質疑を求めた。

(委員) 特になし

- 議長から、県の職業能力開発全般について質疑、意見等を委員に求めた。

(委員)

高等技術学校への企業からの直接求人の倍率はどの程度であるか。香川県における直近の有効求人倍率は 1.55 倍であるが、それと比較してどのような状況であるか。

(事務局)

高等技術学校は新規学卒者を対象とした技術専門コースと、求職者を対象とした求職者向けコースに分かれている。技術専門コースについては、どの科においても求人倍率は高く、おおむね 5 倍程度である。特に自動車工学科については 20 倍程度の求人倍率となっている。

求職者向けコースについては、就職活動はハローワークと連携して進めており、学校において就職相談、就職支援を行うとともに、ハローワークでの相談を促している。このため、企業から高等技術学校に直接照会のある求人は若干数である。正確な数値ではないもののあえて求人倍率を示すとすると 0.2 倍、0.3 倍程度と考えられる。

(委員)

技術専門コースをはじめとする技術系の訓練科については、求人状況が良いということであるが、その一方で今回の訓練見直しは定員を減ずることとなっており、その理由の一つとして入校者数が少ないことが挙げられていた。求人側の数字よりも入校者側の数字を基に検討されているような印象を受けるとともに、地域の人材輩出ニーズに応えるという側面を考えると、検討の方向性に疑問を感じた。その点はどのように考えているか。

(事務局)

御指摘のとおり近年の応募状況を検討要素の一つとしている側面もある。

一方で、丸亀校における電気工学科とビル設備管理科の統合については、資格の取得に重複があることや、現状の指導員の体制も踏まえ、最も効率的な形で職業訓練事業を実施するとともに、求職者にとって魅力的な訓練を設定することを目的としている。

また、自動車工学科については、訓練における安全面を維持しつつ、自動車技術の高度化に対応した質の高い訓練を実施するには、現状の定員数では難しいという検討結果である。

(委員)

入学者確保については、学校の認知度がかなり大きなテーマであると考えている。ポリテクカレッジにおいても認知度は大きなテーマであり、大学の工学部や工業大学など文部科学省系の学校と比べると認知度は十分ではないと認識している。ポリテクカレッジにおいては、認知度を高める取組みとして、香川県内のほぼ全ての高校に毎年先生方が手分けして訪問し、説明を行っている。「四国職業能力開発大学校附属高知職業能力開発短期大学校」が設置されている高知県は別として、愛媛県及び徳島県の主だった高校にも訪問し、説明を行っている。さらに、複数回説明に伺う高校もある。このように自ら出て行って説明するといった積極的な活動を実施している。

オープンキャンパスの開催にも力を入れており、訪れた高校生の進路の選択肢になるよう努めている。

方法には違いがあるかとは思いますが、認知度の向上について、いい取組みがあれば情報共有したい。

(事務局)

技術専門コースについては、3回の募集日程を設定しているが、その募集の都度、高等技術学校の指導員が県内の高校に訪問し、説明を行っている。合わせて、県内の短期大学及び専門学校には資料を送付しているが、応募者確保は難しい状況である。

また、学校の認知度を上げる取組みとして学校祭を実施していたものの、令和2年度及び令和3年度の2年間は、新型コロナウイルスの影響で学校祭は中止とした。今年度高松校の学校祭を再開したところであり、今後も認知度を高める取組みを行っていきたいと考えている。

(事務局)

労働政策課においては、香川県教育委員会と連携し、進路指導の先生方の集まりや校長会等にて高等技術学校のパンフレットを配布するなどの取組みを行っている。

(委員)

香川職業能力開発促進センターは「ポリテクセンター香川」の愛称を設定しており、「ポリテク」で広く一般に知名度が浸透している。議題3で高等技術学校の愛称の設定について説明があったが、設定する愛称が「ポリテク」と類似した場合、求職者の方々等が混同することが危惧される。愛称設定においては、可能な限り混同の無いものとなるよう配慮いただきたい。

(委員)

ものづくり系の企業においては、現状の市場の変化に伴って、ニーズに合った技術の導入など、新たな取組みを行っている。一方で、高等技術学校の訓練内容は、パンフレットを見る限り古い技術であると感じる。例えば、丸亀校の金属ものづくり科は、ガス溶接がメインの訓練内容であるように受け取れるが、ガス溶接を主に利用する県内事業所は少ない。県内事業所においては、半自動アーク溶接やTIG溶接を主に利用しており、ポリテクセンターには、これらの内容をメインとする科がある。

採用する立場では、訓練修了者であっても即戦力とはならないため、業務に必要な技術入社後教える必要がある。

求職者から見ても、動画共有サイトやSNS等で最新の技術・技能を手軽に勉強できる時代に、古い技術の訓練内容では、魅力を感じにくく、正直、「行きたい。」とは思わないのではないか。

また、特定の分野に特化した科の設定ではなく、さまざまな分野をまたぐような内容について考えてみても良いのではないか。例えば、家具製造においては、単純に家具を作るだけでなく、インテリアコーディネートや内装リフォームと合わせた相談など、仕事の幅が広がってきている。このような仕事の関連性を意識し、間口を広げたような、楽しめるような、夢をもてるような内容があれば良いのではないか。

いくつかの訓練科を横断できるような、新しい取組みを視野に入れてはどうか。

(事務局)

新しい取組みについては、我々も魅力ある訓練内容でなければ応募者の確保は困難であると考えている。

例えば、高松校の機械システム科において、今年度から新たに3Dプリンタを導入した。若者がものづくりへ興味を持つきっかけになればと考えている。

また、同校の造園科でも、CADを導入した。造園は「剪定」や「石を積む」等のイメージが強いと思うが、それでは今の時代についていけないと考え、CADを用いてコンピュータ上で想定していくという訓練を実施している。

いきなり高度なものを取り入れるというのは難しいが、少しずつでも新たな技術や魅力のあるものを取り入れていきたいと考えている。

以上のとおり、質疑・応答がなされ、会議を閉会した。

高等技術学校における職業訓練の概要 (R4.4.1現在)

【入学者及び求職者対象施設内訓練】

入学料 授業料 (円)	対象者	訓練 期間	入校月	校名	訓練科名	定員	訓練内容	取得可能な資格
5,650 年118,800	高等学校 新卒者等 40歳未満 を有する 職転職者	2年	4月	高松校	電気システム科	15人×2学年	電気工事、電気・機械制御、消防設備、安全衛生等に関する座学 ・ 家庭電器を使用した電気配線や空調設備工事の実習 ・ パソコンの構造や操作、パソコンによる電気制御回路のプログラミング実習、 図面作成に必要なCAD操作の実習等	第1種電気工事士(3年の実務経験)、第2種電気工事士、工事担任者試験(第2級デジタル通信)、消防設備士中級第4類、電気系機械保全技能検定3級、表計算士3級、 A溶接技能講習、A溶接特別教育、低圧電気取扱特別教育
					自動車工学科	25人×2学年	自動車の構造・性能、電気・電子理論、燃料・潤滑剤、自動車整備関係法令等に関する座学 ・ エンジンやミキサーエンジンの分解組立、ブレーキや電気回路、金属加工等の自動車整備に必要な作業の実習等	二級かつ自動車整備士(修了後受験)、二級かつ自動車整備士(修了後受験)、電気自動車整備士(修了後受験)、A溶接技能講習、A溶接特別教育
					建築システム科	15人×2学年	建築物の構造や工法、計画・設計技法、安全衛生、建築関係法規等に関する座学 ・ 家庭電器を使用した建築施工、内装仕上げ実習、鉄骨製枠施工、測量 ・ パソコンによるCND操作実習、施工計画演習等	2級建築施工管理士(学科のみ)、建築士上級検定2級、3級、A溶接技能講習、A溶接特別教育、2級建築士(修了後受験+修了後2年の実務経験)、足場の組立て等作業従事者特別教育
					機械システム科	10人×2学年	機械部品の加工や設計、材料、電気工学等に関する座学 ・ 高度なフラット加工等を使用した操作実習 ・ ガス溶接やアーク溶接の溶接実習 ・ パソコンによる機械部品設計、二次元・三次元CAD操作、旋盤や加工機械の制御プログラミング実習等	機械・A溶接技能検定2級・3級、普通盤技能検定2級・3級、機械後進技能検定3級、ガス溶接技能講習、A溶接特別教育
					塗装技術科	10人	塗料、自動車塗料、車体構造、金属・建築塗料、建築構造、危険物取扱扱い、安全衛生等に関する座学 ・ ガス溶接やアーク溶接の溶接実習 ・ パソコンによる機械部品設計、二次元・三次元CAD操作、旋盤や加工機械の制御プログラミング実習等	有機溶剤作業主任者、ガス溶接技能講習、A溶接特別教育、特別科学物質作業主任者、低圧電気取扱特別教育
					住宅建築施工科	15人	建築構造、施工法、建築法規、施工技術、福祉住環境構築、建築設備、建築材料、製図などに関する座学 ・ 建築関係法規等に関する座学 ・ 建築関係法規等を使用した建築施工、内外装工法実習、鉄筋・型枠施工実習、CAD実習、設計実習等	建築大工技能検定3級、2級建築施工管理士補、化野コーポレター、建築CAD検定3級・2級、A溶接技能講習、A溶接特別教育、足場の組立て等作業従事者特別教育
					電気工事科	20人	電気理論、測定法及び試験法、電気機器、材料及び器具、製図及び配線図、法令、電気工事施工法、配電理論及び配線設計、安全衛生に関する座学 ・ 電気工事実習、測定基本実習、ケーブル基本実習、制御実習、安全衛生作業法等	第2種電気工事士、消防設備士乙種第4類、A溶接技能講習、A溶接特別教育、低圧電気取扱特別教育、表計算士3級、足場の組立て等作業従事者特別教育
					造園科	30人×2期	庭園大意、造園植物、造園材料、造園製図に関する座学 ・ 機械基本実習(造園用工具等の取扱)、植栽基本実習(樹木の移植)、庭園基本実習(作庭、石工事、エクステンション等)、栽培基本実習(剪定、刈定)、応用実技造園実習(庭園制作)	小型移動式クレーン運転技能講習、主務技能講習、高所作業車運転技能講習、小型車両系建設機械運転技能特別教育、刈払機取扱作業車安全衛生特別教育、伐木(チェーンソー)取扱特別教育
					住リフォーム科	20人×2期	建築構造、建築法規、住居計算、福祉住環境構築、建築設備、建築材料、建築製図などに関する座学 ・ 家庭電器を使用した建築施工、内外装施工実習、家具製作実習、CAD実習等	福祉住環境リフォーム士3級、DIYリフォーム(実技試験免除) 足場の組立て等作業従事者特別教育
					デザイン科	10人×2期	美術デザイン史、デザイン理論、色彩・造形、グラフィック、広告概論、DTP概論、Web概論に関する座学 ・ デッサン、デザイン実習、PC実習、WEB実習、応用実習	色彩検定3級、Illustratorクリエイター能力認定試験スタンダード、Photoshopクリエイター能力認定試験スタンダード
無料	職転職者	6か月	※金属ものづくり科は、上記に加えて7月、8月、1月	丸亀校	金属ものづくり科	5人×4期	機械工学概論、NC工作機械、機械工作法、機械材料、溶接技術一般、製図などに 関する座学 ・ 安全衛生作業法、測定及び仕上げ実習、切削加工実習、NC加工実習、ガス溶接・溶断実習、アーク溶接実習、OA機器操作実習等	日本溶接協会溶接技能者評価試験(SN-2P)、A溶接技能講習、A溶接特別教育、低圧電気取扱特別教育、足場の組立て等作業従事者特別教育
					パソコンCAD科	15人×2期	CAD概論、機械工学概論、情報リテラシーに関する座学 ・ 製図基本実習、二次元・三次元CAD操作実習、OA機器操作実習、測定・加工実習等	機械・ブランド製図技能検定3級、CAD利用技術者試験2級、ワードプロセッサ一級士3級、表計算士3級
					情報ビジネス科	22人×2期	簿記会計、OA機器の基礎知識、Eメール、ビジネス文書、安全衛生などに関する座学 ・ 簿記及び会計実習、OA機器操作実習、プレゼンテーション、WEB制作実習	日商簿記3級・2級、ワードプロセッサ一級士3級・2級、表計算士3級・2級
					ビル設備管理科	10人×2期	ビル管理概論、ビル設備概論、ボイラー設備、電気設備などに関する座学 ・ 給排水設備実習、空調設備実習、ボイラー設備実習、電気設備実習、ビルメンテナンス実習、パソコンCAD実習等	第2種電気工事士、危険物取扱者乙種第4類、消防設備士甲種・乙種第4類、ボイラー取扱技能講習、A溶接技能講習、A溶接特別教育、低圧電気取扱特別教育、足場の組立て等作業従事者特別教育
2か月	高松校	介護サービス科	15人×2期	介護職員初任者研修に必要な知識 ・ 介護職員初任者研修に必要となる介護実習	介護職員初任者研修			

15学科 入校定員 439名

【求職者対象民間委託訓練】

入学金 授業料	対象者	訓練 期間	実施 地域	訓練科名	定員	訓練内容	取得可能な資格	
無料	求職者	2年	4	介護福祉科	12人	介護福祉士に必要な知識と実技習得	介護福祉士等	
			4	保育科	18人	保育士に必要な知識と実技習得	保育士等	
			4	美容科	4人	美容師に必要な知識と実技習得	美容師等	
			4	ITシステム科	6人	IT関連業務に必要な知識と実技習得	基本情報技術者試験等	
			9	介護実務者科	14人	社会福祉及び介護の実務的な知識と実技習得	介護福祉士実務者研修等	
			10	WEB・プログラミング科	15人	WEB・プログラミングに関する知識と実技及びブログ、表計算、データベースに関する知識と実技習得	Webクリエイティブ認定試験スタンダード、クリエイティブ技能評価試験ウェブ部門3級、表計算部門3級、MS Access 365&2019 上級レベル等	
			5	ビジネス経理科	20人	ビジネス文書、経理に関する知識及びワード、表計算、データベース、エクセルの基本操作に関する知識と実技習得	クリエイティブ技能評価試験ウェブ部門3級/2級、表計算部門3級/2級、データベース部門3級/2級、日商簿記3級/2級等	
			9	ビジネススキルアップ科	15人	ワード、表計算、パワーポイント、エクセルの基本操作に関する知識習得及びビジネスの実務的な習得	クリエイティブ技能評価試験ウェブ部門3級/2級、表計算部門3級/2級、データベース部門3級/2級	
			-	高松	OA経理事務科	18人	経理事務、パソコンに関する知識習得	日商簿記3級/2級、クリエイティブ技能評価試験ウェブ部門3級/2級、表計算部門3級/2級
			6、7	介護初任者科	14人×3期	介護、介護業務に関する知識と実技習得	介護職員初任者研修、福祉用具専門相談員等	
			-	高松	IT・クリエイター科	15人	IT関連業務に必要な知識と実技習得	基本情報技術者試験等
			5,8 11,3	高松	OA医療事務科	16人×4期	医療事務、クリエイターに関する知識習得	介護福祉士、医療事務等
			11,12	高松	OA経理事務科	16人×2期	経理事務、パソコンに関する知識習得	日商簿記3級/2級、クリエイティブ技能評価試験ウェブ部門3級/2級、表計算部門3級/2級
			6,7, 9,11, 12,2	東讃 高松 中讃 西讃	ビジネスパソコン科(初級)	18人×1期 18人×2期 18人×1期 18人×1期 15人×1期	ワード、表計算、パワーポイント、エクセルの基本操作に関する知識習得	クリエイティブ技能評価試験ウェブ部門3級/2級、表計算部門3級/2級、データベース部門3級/2級等
			6,11, 11	高松	ビジネスパソコン科(中級)	18人×2期 18人×1期	ワード、表計算、データベース、エクセルの基本・応用操作に関する知識習得	クリエイティブ技能評価試験ウェブ部門3級/2級、表計算部門3級/2級、データベース部門3級/2級等
-	高松	観光おもてなし科	15人	地域の観光サービス産業における接客サービスの知識と技術習得	サービス接客検定			
4,9	中讃	農業科	10人×2期	農業高等学校での農科専攻実習に関する知識と技術習得 農家での現場作業体験				
2 月か	西讃	さぬきうどん科	10人	さぬきうどんの伝統的製法及びその他調理全般の技術習得 店舗実習を通じて接客サービス及び経営知識の習得				
1 月か	高松	施設機械操作科	16人×2期	小型移動式クレーン運転技能講習、フォークリフト運転技能講習、玉掛け技能講習	小型移動式クレーン運転技能講習、フォークリフト運転技能講習、玉掛け技能講習			
9	高松	介護実務者科	2人	社会福祉及び介護の実務的な知識と実技習得	介護福祉士実務者研修等			
6、7	高松	介護初任者科	2人×3期	介護、介護業務に関する知識と実技習得	介護職員初任者研修、福祉用具専門相談員等			
5,8 11,3	高松	OA医療事務科	2人×4期	医療事務、パソコンに関する知識習得	介護福祉士、医療事務等			
11,12	高松	OA経理事務科	2人×2期	経理事務、パソコンに関する知識習得	日商簿記3級/2級、クリエイティブ技能評価試験ウェブ部門3級/2級、表計算部門3級/2級			
-	高松	OA事務科	10人×2期	ワード、表計算、エクセルの基本操作に関する知識習得	クリエイティブ技能評価試験ウェブ部門3級/2級、データベース部門3級/2級			
随時	県下一円	実践能力習得コース	10人	企業等の作業現場で行う実践的作業実習など(訓練終了後、企業等・訓練生の合意があれば就労となります)				
21学科 入校定員 561名					※母子家庭の母等の訓練は、離職者訓練の中に定員枠を設けて実施			

【在職者対象施設内訓練】

資料1-3

校名	担当訓練科	コース名	訓練時間	訓練日数	昼・夜	実施回数	定員		日程	受講料 テキスト代	
							1回	延			
高松	建築システム科	Jw_cad講習 (基本操作編)	12	4	夜	1	10	10	9/6~15 (火・木)	2,000 3,520	
		Jw_cad講習 (図面作成編)	12	4		1	10	10	10/11~20 (火・木)	2,000 -	
	造園科	造園技術講習	12	2	昼	1	6	6	3/22、23 (水・木)	12,000 -	
	デザイン科	デザイン講習 (Photoshop CC講習)	12	3		1	10	10	8/3~5 (水・木・金)	2,000 -	
小計			48	13		4	36	36			
丸亀	電気工事科	第二種電気工事士 受験講習 (筆記)	24	8	夜	1	30	30	4/26~5/26 (火・木)	3,000 1,760	
		第二種電気工事士 基礎講習 (技能)	12	4		1	15	15	6/7~16 (火・木)	5,000 1,320	
		第二種電気工事士 受験講習 (技能)	12	4		1	20	20	7/5~14 (火・木)	7,000 1,320	
		第一種電気工事士 受験講習 (筆記)	24	8		1	20	20	9/1~27 (火・木)	3,000 3,080	
		第一種電気工事士 受験講習 (技能)	18	6		1	20	20	11/17~12/6 (火・木)	9,000 2,530	
	住宅建築施工科	Jw-cad講習 (基本操作編)	12	4	夜	1	18	18	5/11~18 (月・水・金)	2,000 -	
		Jw-cad講習 (図面作成編)	12	4		1	18	18	6/22~29 (月・水・金)	2,000 -	
	金属ものづくり科	ガス溶接技能講習	14	2	昼	2	20	40	5/26、27 11/10、11 (木・金)	5,000 880	
	パソコンCAD科	Auto CAD講習 (作図編)	12	4	夜	1	15	15	9/20~29 (火・木)	2,000 -	
		Auto CAD講習 (設定編)	12	4		1	15	15	11/1~15 (火・木)	2,000 -	
	情報ビジネス科	社会保険制度実務講習	12	3	昼	1	15	15	8/31~9/14 (水)	2,000 1,320	
		簿記検定 (3級) 受験講習	30	10	夜	1	15	15	10/14~11/4 (月・水・金)	6,000 1,980	
		パソコン講習 (パワーポイント)	12	4		1	15	15	7/12~15 (火~金)	3,000 2,200	
		パソコン講習 (Excelマクロ入門)	12	4		1	15	15	10/4~7 (火~金)	3,000 2,860	
		ビル設備管理科	消防設備士 (乙種第4類) 受験講習	12		4	1	15	15	7/29~8/5 (月・水・金)	4,000 2,728
	小計			230	73		16	266	286		
	総計			278	86		20	302	322		



# 高等技術学校施設内訓練の実施状況について

(各年度就職者数は修了年度の翌年度の6月末時点で記載)

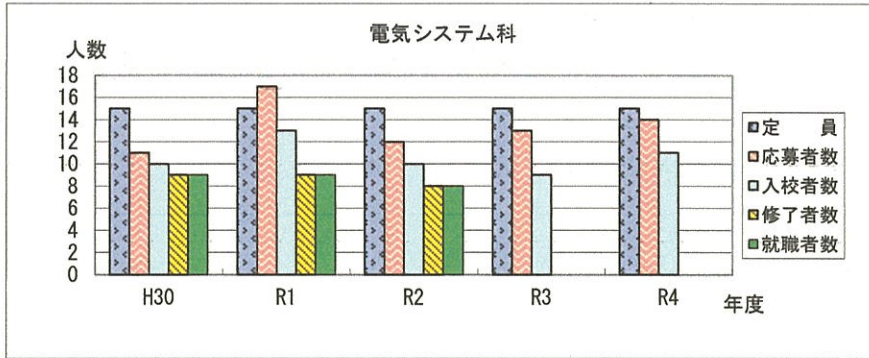
資料 2-1

## 2年コース (高卒等対象)

### 電気システム科(高松)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	15	11	10	9	9
R1	15	17	13	9	9
R2	15	12	10	8	8
R3	15	13	9	-	-
R4	15	14	11	-	-

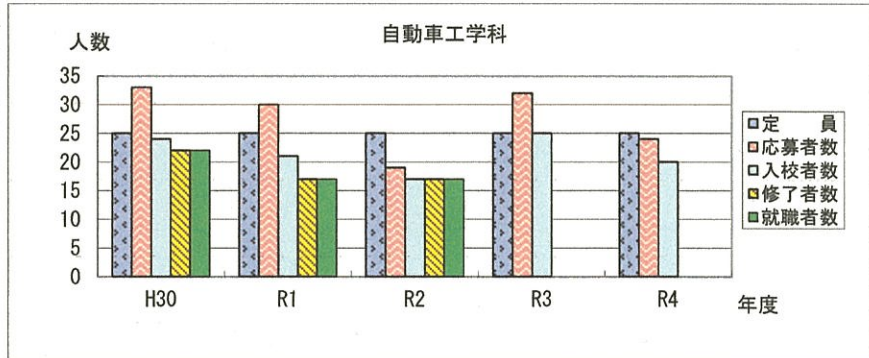
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	73.3%	66.7%	90.0%	100.0%
R1	113.3%	86.7%	69.2%	100.0%
R2	80.0%	66.7%	80.0%	100.0%
R3	86.7%	60.0%	-	-
R4	93.3%	73.3%	-	-
平均	89.3%	70.7%	79.7%	100.0%



### 自動車工学科(高松)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	25	33	24	22	22
R1	25	30	21	17	17
R2	25	19	17	17	17
R3	25	32	25	-	-
R4	25	24	20	-	-

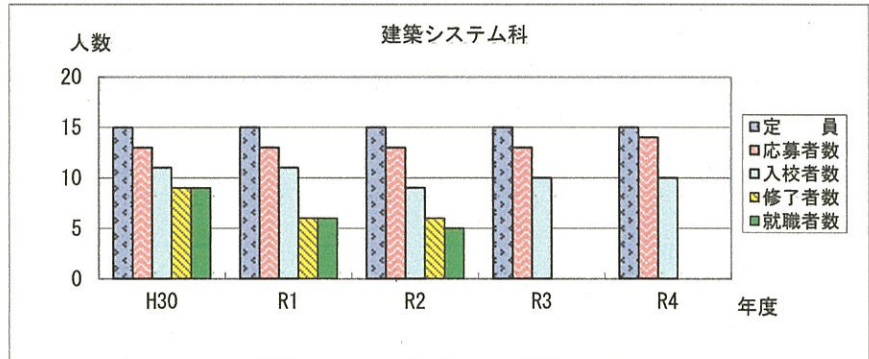
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	132.0%	96.0%	91.7%	100.0%
R1	120.0%	84.0%	81.0%	100.0%
R2	76.0%	68.0%	100.0%	100.0%
R3	128.0%	100.0%	-	-
R4	96.0%	80.0%	-	-
平均	110.4%	85.6%	90.9%	100.0%



### 建築システム科(高松)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	15	13	11	9	9
R1	15	13	11	6	6
R2	15	13	9	6	5
R3	15	13	10	-	-
R4	15	14	10	-	-

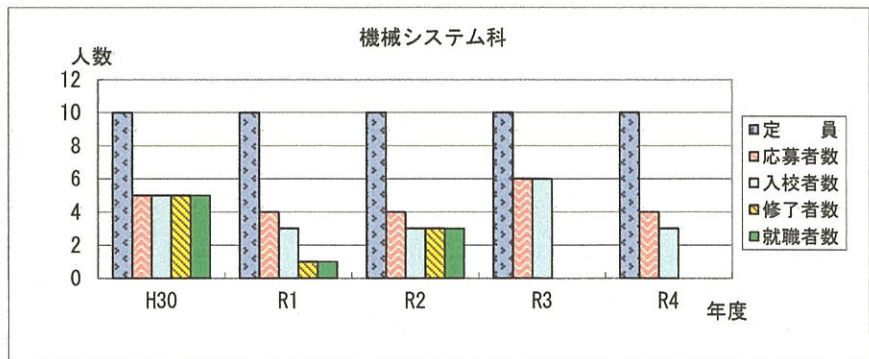
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	86.7%	73.3%	81.8%	100.0%
R1	86.7%	73.3%	54.5%	100.0%
R2	86.7%	60.0%	66.7%	83.3%
R3	86.7%	66.7%	-	-
R4	93.3%	66.7%	-	-
平均	88.0%	68.0%	67.7%	94.4%



### 機械システム科(高松)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	10	5	5	5	5
R1	10	4	3	1	1
R2	10	4	3	3	3
R3	10	6	6	-	-
R4	10	4	3	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%
R1	40.0%	30.0%	33.3%	100.0%
R2	40.0%	30.0%	100.0%	100.0%
R3	60.0%	60.0%	-	-
R4	40.0%	30.0%	-	-
平均	46.0%	40.0%	77.8%	100.0%



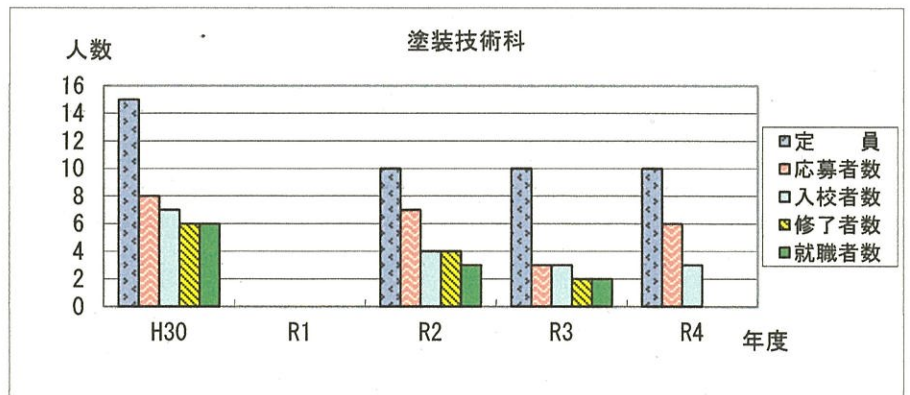
# 1年コース（離職者等対象）

## 塗装技術科(高松)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	15	8	7	6	6
R1	-	-	-	-	-
R2	10	7	4	4	3
R3	10	3	3	2	2
R4	10	6	3	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	53.3%	46.7%	85.7%	100.0%
R1	-	-	-	-
R2	70.0%	40.0%	100.0%	75.0%
R3	30.0%	30.0%	66.7%	100.0%
R4	60.0%	30.0%	-	-
平均	53.3%	36.7%	84.1%	91.7%

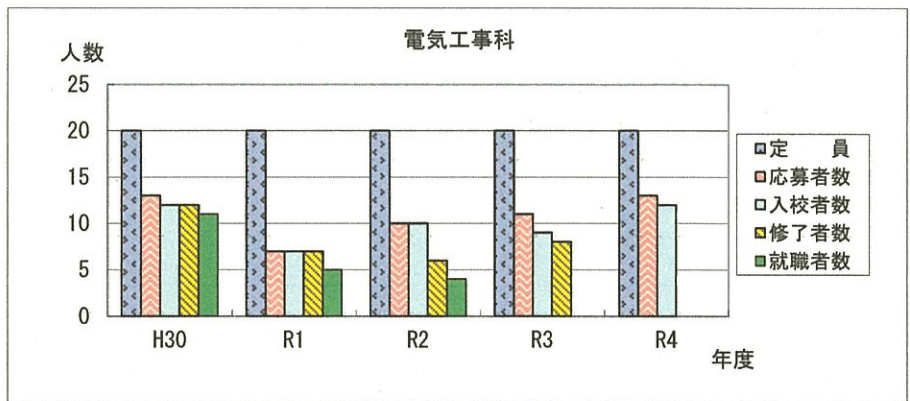
※R1年度休止



## 電気工事科(丸亀) ※10月訓練開始

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	20	13	12	12	11
R1	20	7	7	7	5
R2	20	10	10	6	4
R3	20	11	9	8	-
R4	20	13	12	-	-

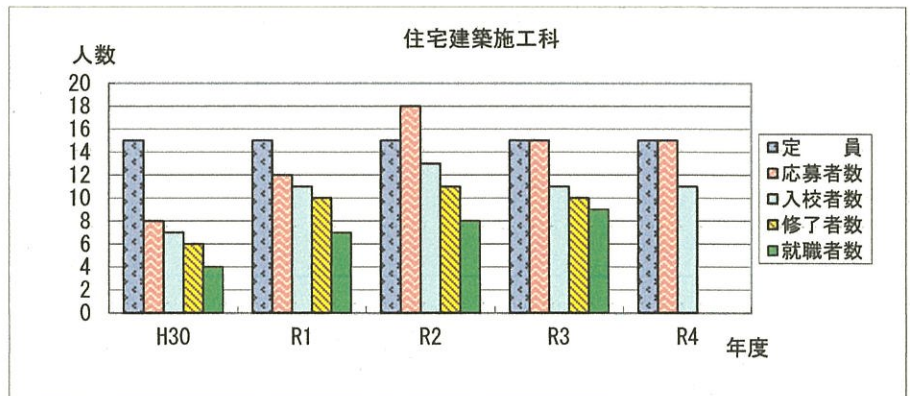
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	65.0%	60.0%	100.0%	91.7%
R1	35.0%	35.0%	100.0%	71.4%
R2	50.0%	50.0%	60.0%	66.7%
R3	55.0%	45.0%	88.9%	-
R4	65.0%	60.0%	-	-
平均	54.0%	50.0%	87.2%	76.6%



## 住宅建築施工科(丸亀)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	15	8	7	6	4
R1	15	12	11	10	7
R2	15	18	13	11	8
R3	15	15	11	10	9
R4	15	15	11	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	53.3%	46.7%	85.7%	66.7%
R1	80.0%	73.3%	90.9%	70.0%
R2	120.0%	86.7%	84.6%	72.7%
R3	100.0%	73.3%	90.9%	90.0%
R4	100.0%	73.3%	-	-
平均	90.7%	70.7%	88.0%	74.8%



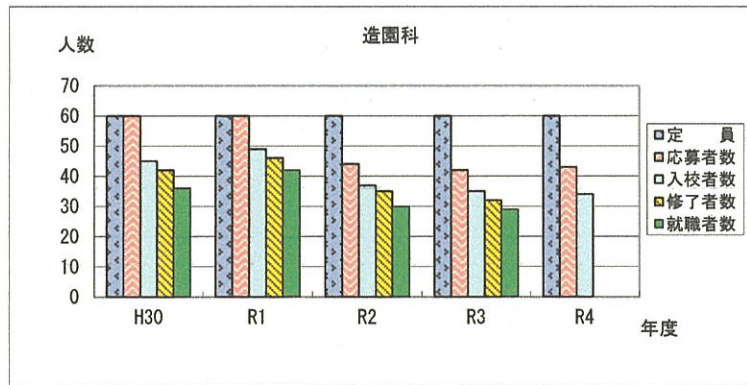


## 6か月コース（離職者等対象）

### 造園科(高松)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	60	60	45	42	36
R1	60	60	49	46	42
R2	60	44	37	35	30
R3	60	42	35	32	29
R4	60	43	34	-	-

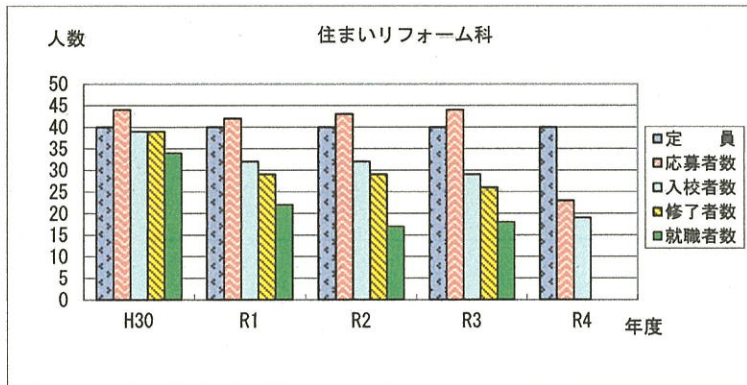
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	100.0%	75.0%	93.3%	85.7%
R1	100.0%	81.7%	93.9%	91.3%
R2	73.3%	61.7%	94.6%	85.7%
R3	70.0%	58.3%	91.4%	90.6%
R4	71.7%	56.7%	-	-
平均	83.0%	66.7%	93.3%	88.3%



### 住まいリフォーム科(高松)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	40	44	39	39	34
R1	40	42	32	29	22
R2	40	43	32	29	17
R3	40	44	29	26	18
R4	40	23	19	-	-

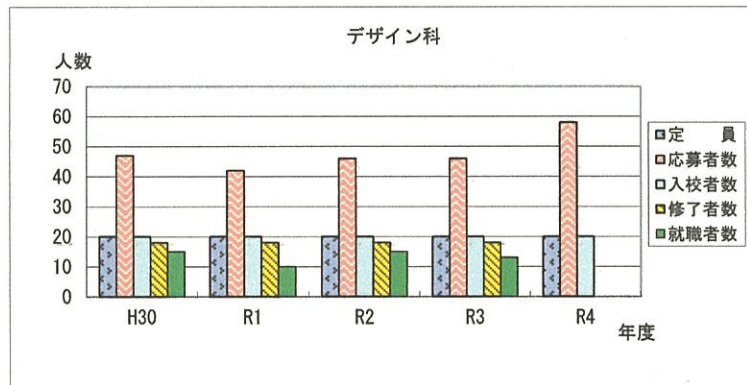
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	110.0%	97.5%	100.0%	87.2%
R1	105.0%	80.0%	90.6%	75.9%
R2	107.5%	80.0%	90.6%	58.6%
R3	110.0%	72.5%	89.7%	69.2%
R4	57.5%	47.5%	-	-
平均	98.0%	75.5%	92.7%	72.7%



### デザイン科(高松)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	20	47	20	18	15
R1	20	42	20	18	10
R2	20	46	20	18	15
R3	20	46	20	18	13
R4	20	58	20	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	235.0%	100.0%	90.0%	83.3%
R1	210.0%	100.0%	90.0%	55.6%
R2	230.0%	100.0%	90.0%	83.3%
R3	230.0%	100.0%	90.0%	72.2%
R4	290.0%	100.0%	-	-
平均	239.0%	100.0%	90.0%	73.6%

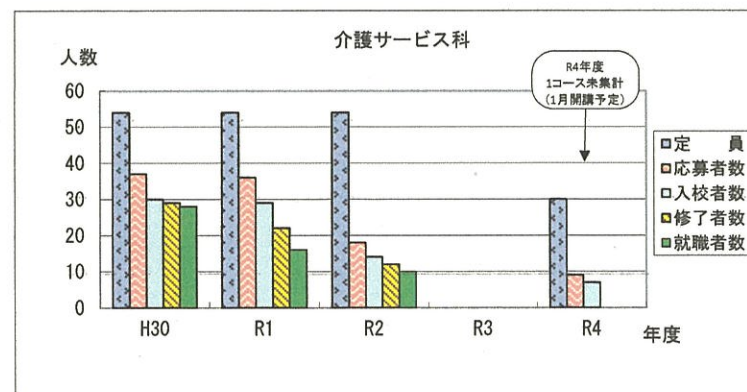


## 2か月コース（離職者等対象）

### 介護サービス科(高松)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	54	37	30	29	28
R1	54	36	29	22	16
R2	54	18	14	12	10
R3	-	-	-	-	-
R4	30	9	7	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	68.5%	55.6%	96.7%	96.6%
R1	66.7%	53.7%	75.9%	72.7%
R2	33.3%	25.9%	85.7%	83.3%
R3	-	-	-	-
R4	30.0%	23.3%	-	-
平均	49.6%	39.6%	86.1%	84.2%



※R2年度以前は訓練期間6か月  
R3年度休止  
R4年度1コース未集計（1月開講予定）



## 6か月コース（離職者等対象）

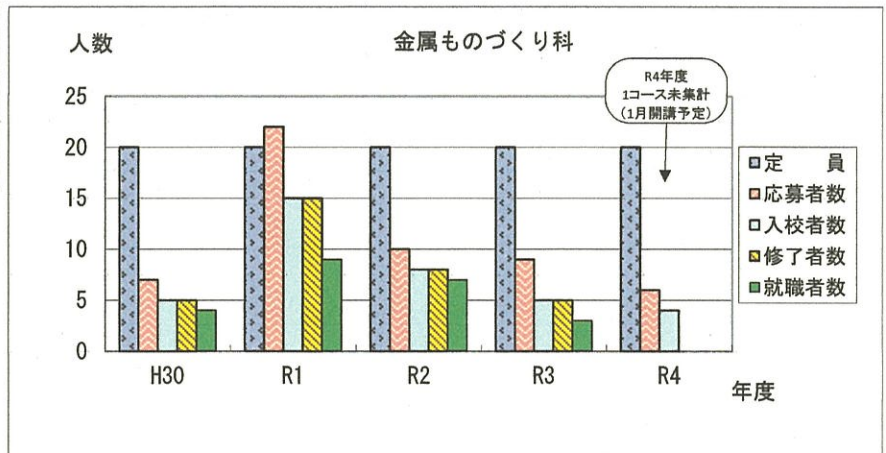
### 金属ものづくり科（丸亀）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	20	7	5	5	4
R1	20	22	15	15	9
R2	20	10	8	8	7
R3	20	9	5	5	3
R4	20	6	4	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	35.0%	25.0%	100.0%	80.0%
R1	110.0%	75.0%	100.0%	60.0%
R2	50.0%	40.0%	100.0%	87.5%
R3	45.0%	25.0%	100.0%	60.0%
R4	30.0%	20.0%	-	-
平均	54.0%	37.0%	100.0%	71.9%

※H30年度以前は機械金属加工科

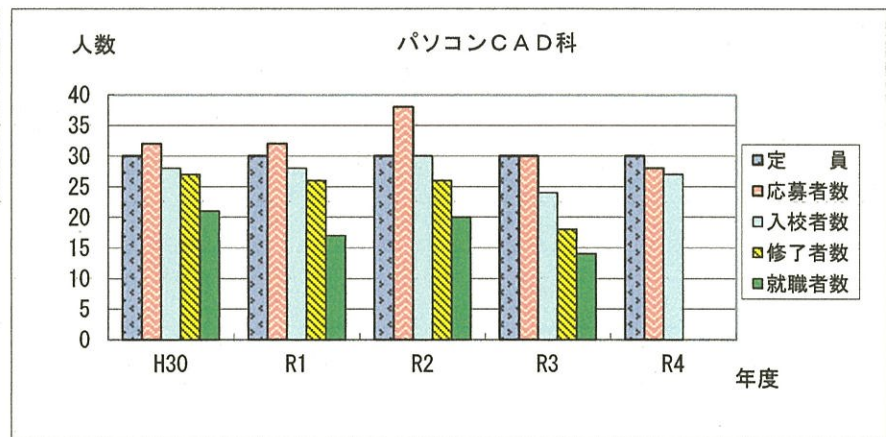
R4年度1コース未集計（1月開講コース）



### パソコンCAD科（丸亀）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	30	32	28	27	21
R1	30	32	28	26	17
R2	30	38	30	26	20
R3	30	30	24	18	14
R4	30	28	27	-	-

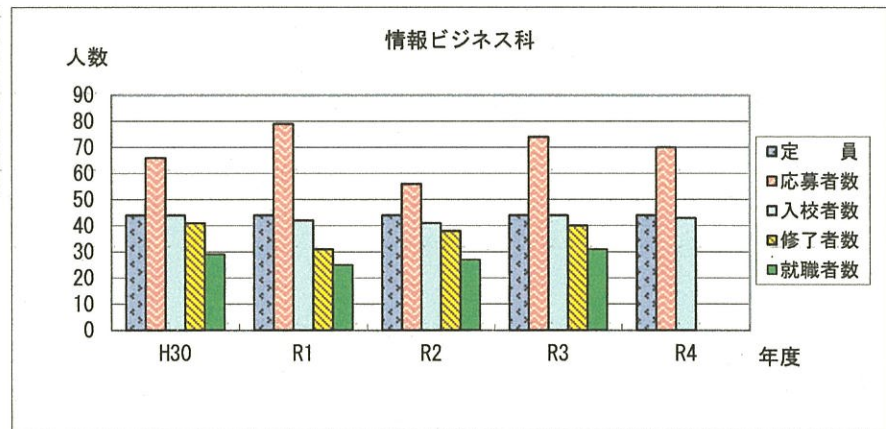
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	106.7%	93.3%	96.4%	77.8%
R1	106.7%	93.3%	92.9%	65.4%
R2	126.7%	100.0%	86.7%	76.9%
R3	100.0%	80.0%	75.0%	77.8%
R4	93.3%	90.0%	-	-
平均	106.7%	91.3%	87.7%	74.5%



### 情報ビジネス科（丸亀）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	44	66	44	41	29
R1	44	79	42	31	25
R2	44	56	41	38	27
R3	44	74	44	40	31
R4	44	70	43	-	-

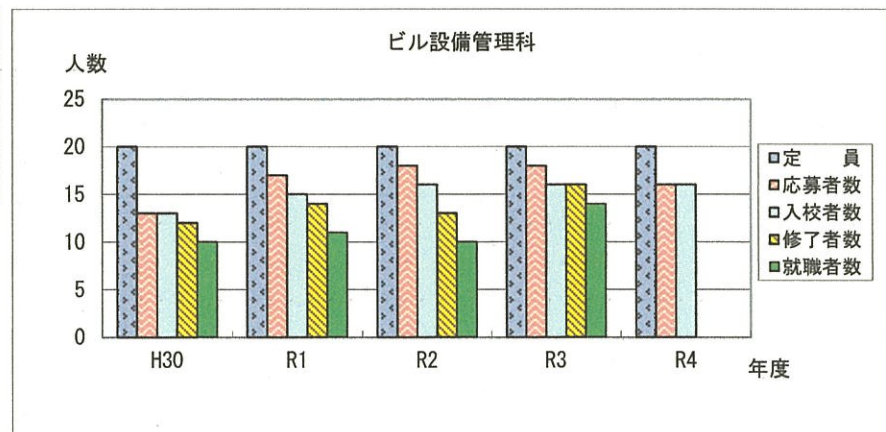
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	150.0%	100.0%	93.2%	70.7%
R1	179.5%	95.5%	73.8%	80.6%
R2	127.3%	93.2%	92.7%	71.1%
R3	168.2%	100.0%	90.9%	77.5%
R4	159.1%	97.7%	-	-
平均	156.8%	97.3%	87.6%	75.0%



### ビル設備管理科（丸亀）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	20	13	13	12	10
R1	20	17	15	14	11
R2	20	18	16	13	10
R3	20	18	16	16	14
R4	20	16	16	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	65.0%	65.0%	92.3%	83.3%
R1	85.0%	75.0%	93.3%	78.6%
R2	90.0%	80.0%	81.3%	76.9%
R3	90.0%	80.0%	100.0%	87.5%
R4	80.0%	80.0%	-	-
平均	82.0%	76.0%	91.7%	81.6%





高等技術学校委託訓練の実施状況について  
(就職者数は訓練修了月の6ヶ月後の月末時点で記載)

民間委託訓練 1か月～2年

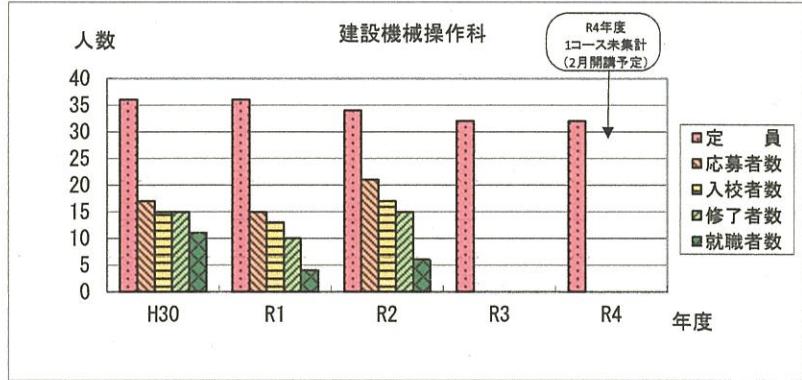
建設機械操作科 (1か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	36	17	15	15	11
R1	36	15	13	10	4
R2	34	21	17	15	6
R3	32	-	-	-	-
R4	32	-	0	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	47.2%	41.7%	100.0%	73.3%
R1	41.7%	36.1%	76.9%	40.0%
R2	61.8%	50.0%	88.2%	40.0%
R3	-	-	-	-
R4	-	-	-	-
平均	50.2%	42.6%	88.4%	51.1%

※R3年度中止

R4年度1コース中止、1コース未集計 (2月開講予定)



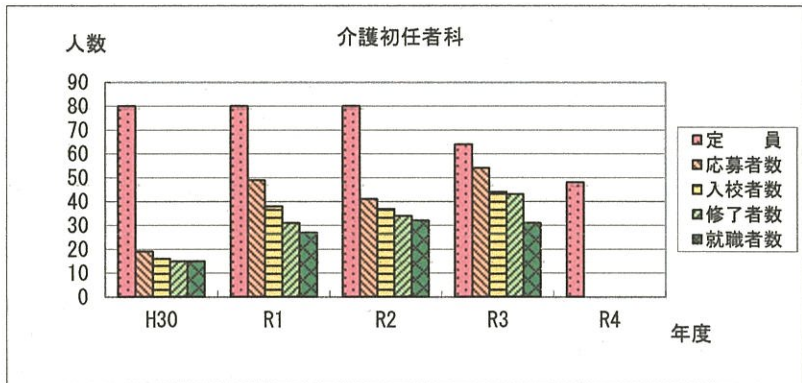
介護初任者科 (3か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	80	19	16	15	15
R1	80	49	38	31	27
R2	80	41	37	34	32
R3	64	54	44	43	31
R4	48	-	-	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	23.8%	20.0%	93.8%	100.0%
R1	61.3%	47.5%	81.6%	87.1%
R2	51.3%	46.3%	91.9%	94.1%
R3	84.4%	68.8%	97.7%	72.1%
R4	-	-	-	-
平均	55.2%	45.6%	91.2%	88.3%

※旧福祉サービス科

R4年度1コース中止、2コース未開講

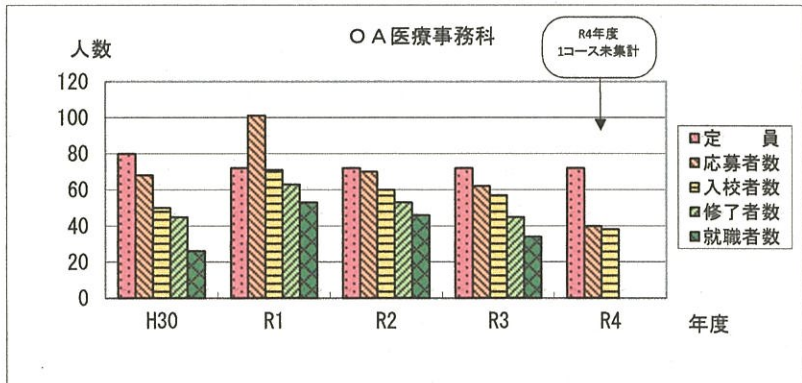


OA医療事務科 (3か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	80	68	50	45	26
R1	72	101	71	63	53
R2	72	70	60	53	46
R3	72	62	57	45	34
R4	72	40	38	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	85.0%	62.5%	90.0%	57.8%
R1	140.3%	98.6%	88.7%	84.1%
R2	97.2%	83.3%	88.3%	86.8%
R3	86.1%	79.2%	78.9%	75.6%
R4	55.6%	52.8%	-	-
平均	92.8%	75.3%	86.5%	76.1%

※R4年度1コース未集計 (3月開講予定)

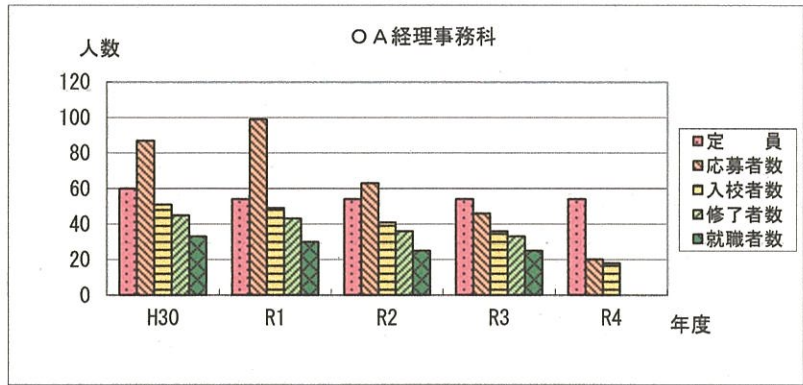


○A経理事務科（3か月・4か月）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	60	87	51	45	33
R1	54	99	49	43	30
R2	54	63	41	36	25
R3	54	46	36	33	25
R4	54	20	18	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	145.0%	85.0%	88.2%	73.3%
R1	183.3%	90.7%	87.8%	69.8%
R2	116.7%	75.9%	87.8%	69.4%
R3	85.2%	66.7%	91.7%	75.8%
R4	37.0%	33.3%	-	-
平均	113.4%	70.3%	88.9%	72.1%

※R4 1コース未開講

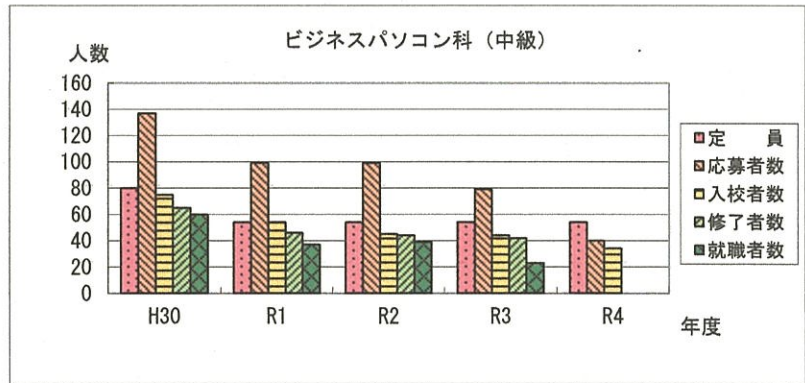


ビジネスパソコン科（中級）（3か月）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	80	137	75	65	60
R1	54	99	54	46	37
R2	54	99	45	44	39
R3	54	79	44	42	23
R4	54	40	34	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	171.3%	93.8%	86.7%	92.3%
R1	183.3%	100.0%	85.2%	80.4%
R2	183.3%	83.3%	97.8%	88.6%
R3	146.3%	81.5%	95.5%	54.8%
R4	74.1%	63.0%	-	-
平均	151.7%	84.3%	91.3%	79.0%

※旧○Aマスター科



ビジネスパソコン科（初級）（3か月）

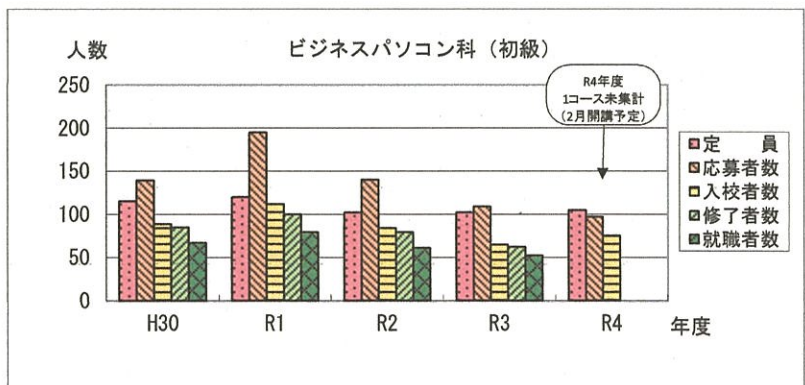
入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	115	139	89	85	67
R1	120	195	112	100	79
R2	102	140	84	79	61
R3	102	109	65	62	52
R4	105	97	75	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	120.9%	77.4%	95.5%	78.8%
R1	162.5%	93.3%	89.3%	79.0%
R2	137.3%	82.4%	94.0%	77.2%
R3	106.9%	63.7%	95.4%	83.9%
R4	92.4%	71.4%	-	-
平均	124.0%	77.6%	93.6%	79.7%

※旧○Aビジネス科及び○A操作科

R3年度2コース中止

R4年度1コース未集計（2月開講予定）



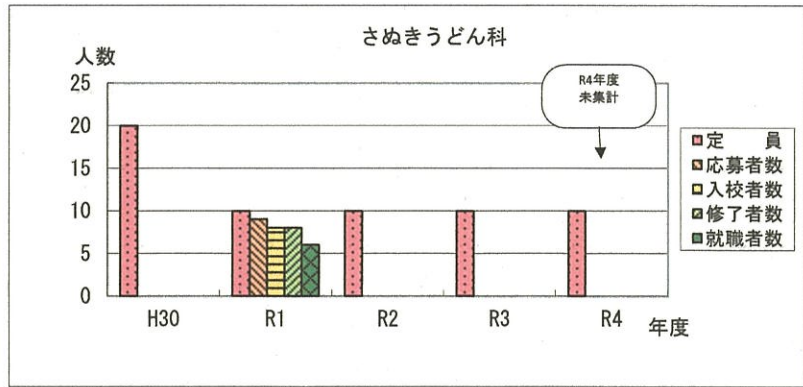


さぬきうどん科 (3か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	20	-	-	-	-
R1	10	9	8	8	6
R2	10	-	-	-	-
R3	10	-	-	-	-
R4	10	-	-	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	-	-	-	-
R1	90.0%	80.0%	100.0%	75.0%
R2	-	-	-	-
R3	-	-	-	-
R4	-	-	-	-
平均	90.0%	80.0%	100.0%	75.0%

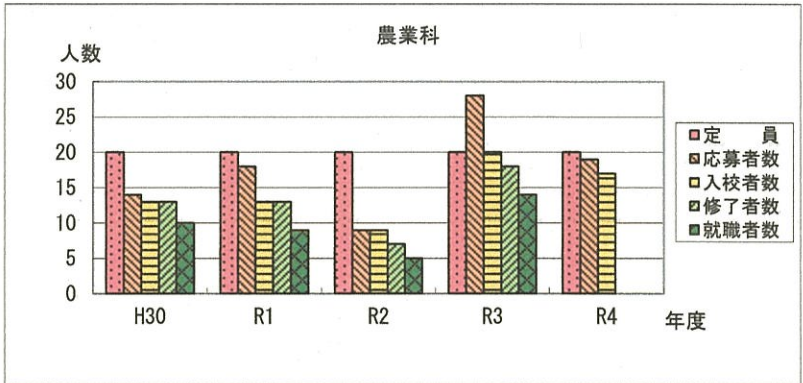
※R2年度、R3年度中止  
R4年度未集計 (1月開講予定)



農業科 (3か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	20	14	13	13	10
R1	20	18	13	13	9
R2	20	9	9	7	5
R3	20	28	20	18	14
R4	20	19	17	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	70.0%	65.0%	100.0%	76.9%
R1	90.0%	65.0%	100.0%	69.2%
R2	45.0%	45.0%	77.8%	71.4%
R3	140.0%	100.0%	90.0%	77.8%
R4	95.0%	85.0%	-	-
平均	88.0%	72.0%	91.9%	73.8%

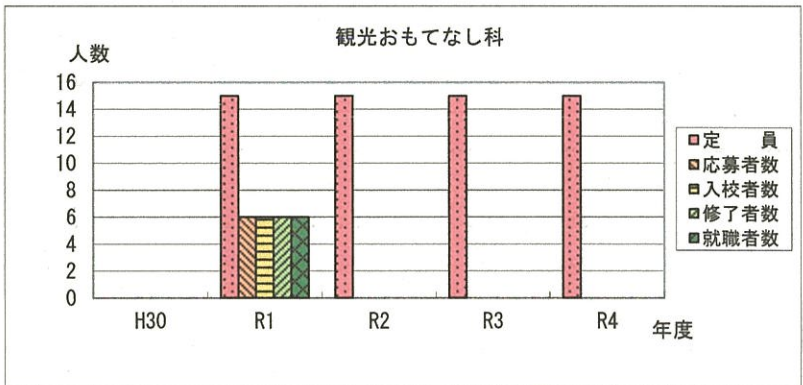


観光おもてなし科 (3か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	-	-	-	-	-
R1	15	6	6	6	6
R2	15	-	-	-	-
R3	15	-	-	-	-
R4	15	-	-	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	-	-	-	-
R1	40.0%	40.0%	100.0%	100.0%
R2	-	-	-	-
R3	-	-	-	-
R4	-	-	-	-
平均	40.0%	40.0%	100.0%	100.0%

※R1年度新設  
R2年度、R3年度中止  
R4年度未開講

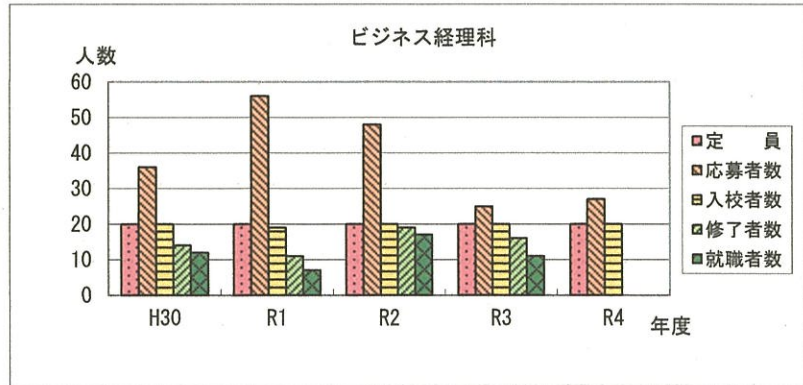


ビジネス経理科 (6か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	20	36	20	14	12
R1	20	56	19	11	7
R2	20	48	20	19	17
R3	20	25	20	16	11
R4	20	27	20	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	180.0%	100.0%	70.0%	85.7%
R1	280.0%	95.0%	57.9%	63.6%
R2	240.0%	100.0%	95.0%	89.5%
R3	125.0%	100.0%	80.0%	68.8%
R4	135.0%	100.0%	-	-
平均	192.0%	99.0%	75.7%	76.9%

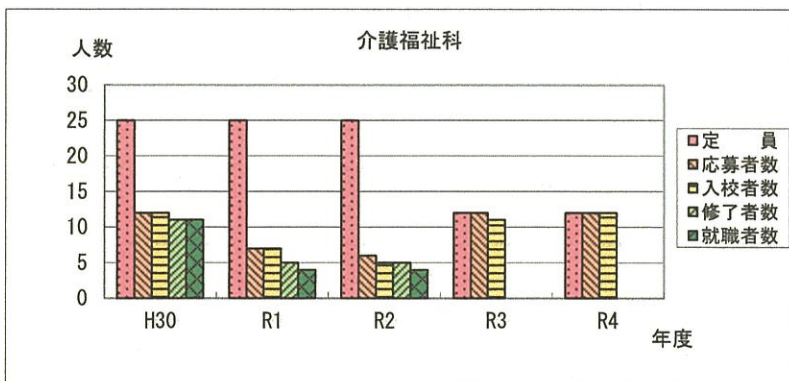
※旧OAシステム科



介護福祉科（2年）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	25	12	12	11	11
R1	25	7	7	5	4
R2	25	6	5	5	4
R3	12	12	11	-	-
R4	12	12	12	-	-

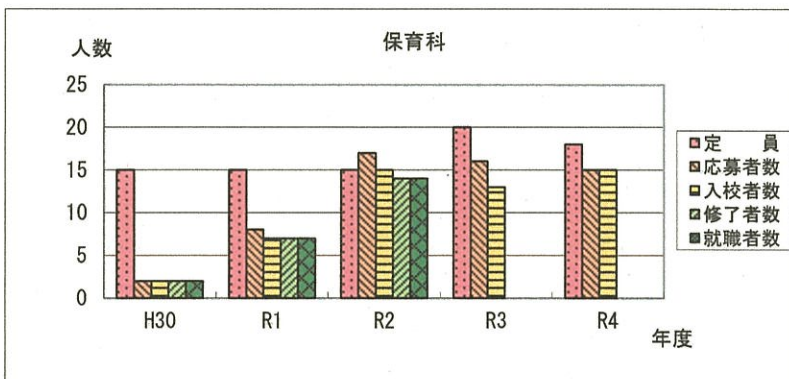
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	48.0%	48.0%	91.7%	100.0%
R1	28.0%	28.0%	71.4%	80.0%
R2	24.0%	20.0%	100.0%	80.0%
R3	100.0%	91.7%	-	-
R4	100.0%	100.0%	-	-
平均	60.0%	57.5%	87.7%	86.7%



保育科（2年）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	15	2	2	2	2
R1	15	8	7	7	7
R2	15	17	15	14	14
R3	20	16	13	-	-
R4	18	15	15	-	-

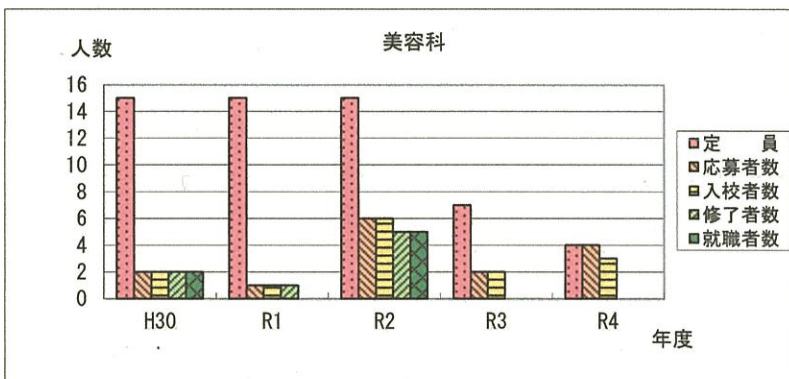
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	13.3%	13.3%	100.0%	100.0%
R1	53.3%	46.7%	100.0%	100.0%
R2	113.3%	100.0%	93.3%	100.0%
R3	80.0%	65.0%	-	-
R4	83.3%	83.3%	-	-
平均	68.7%	61.7%	97.8%	100.0%



美容科（2年）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	15	2	2	2	2
R1	15	1	1	1	0
R2	15	6	6	5	5
R3	7	2	2	-	-
R4	4	4	3	-	-

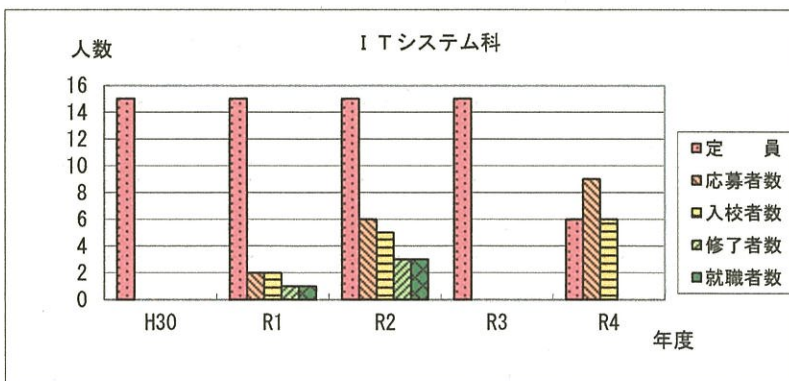
入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	13.3%	13.3%	100.0%	100.0%
R1	6.7%	6.7%	100.0%	0.0%
R2	40.0%	40.0%	83.3%	100.0%
R3	28.6%	28.6%	-	-
R4	100.0%	75.0%	-	-
平均	37.7%	32.7%	94.4%	66.7%



ITシステム科（2年）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	15	-	-	-	-
R1	15	2	2	1	1
R2	15	6	5	3	3
R3	15	-	-	-	-
R4	6	9	6	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	-	-	-	-
R1	13.3%	13.3%	50.0%	100.0%
R2	40.0%	33.3%	60.0%	100.0%
R3	-	-	-	-
R4	150.0%	100.0%	-	-
平均	67.8%	48.9%	55.0%	100.0%



※H30年度中止

※R3年度未開講

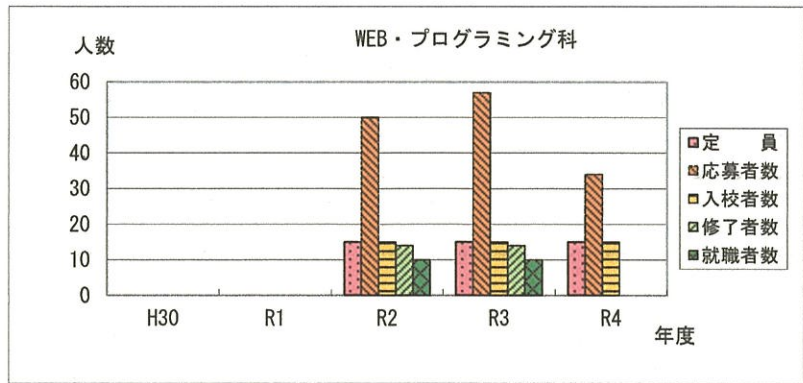


WEB・プログラミング科(6か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	-	-	-	-	-
R1	-	-	-	-	-
R2	15	50	15	14	10
R3	15	57	15	14	10
R4	15	34	15	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	-	-	-	-
R1	-	-	-	-
R2	333.3%	100.0%	93.3%	71.4%
R3	380.0%	100.0%	93.3%	71.4%
R4	226.7%	100.0%	-	-
平均	313.3%	100.0%	93.3%	71.4%

※R2年度新設

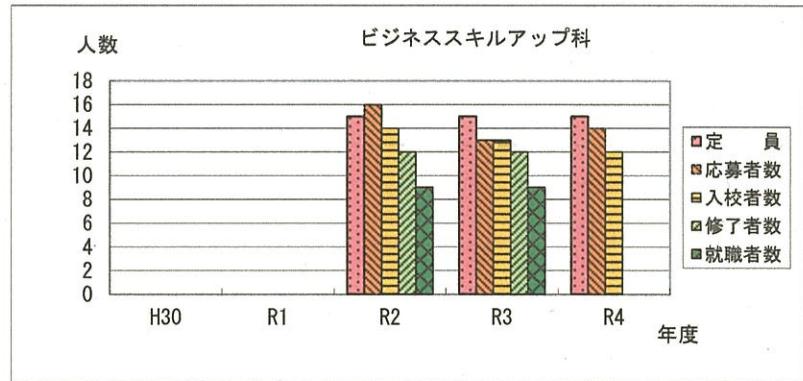


ビジネススキルアップ科(3か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	-	-	-	-	-
R1	-	-	-	-	-
R2	15	16	14	12	9
R3	15	13	13	12	9
R4	15	14	12	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	-	-	-	-
R1	-	-	-	-
R2	106.7%	93.3%	85.7%	75.0%
R3	86.7%	86.7%	92.3%	75.0%
R4	93.3%	80.0%	-	-
平均	95.6%	86.7%	89.0%	75.0%

※R2年度新設

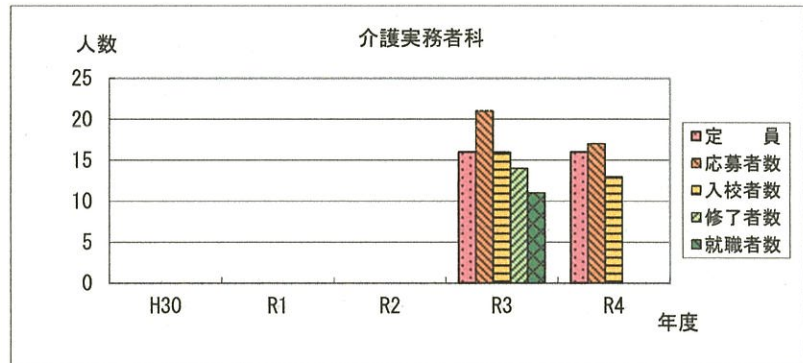


介護実務者科(3か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	-	-	-	-	-
R1	-	-	-	-	-
R2	-	-	-	-	-
R3	16	21	16	14	11
R4	16	17	13	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	-	-	-	-
R1	-	-	-	-
R2	-	-	-	-
R3	131.3%	100.0%	87.5%	78.6%
R4	106.3%	81.3%	-	-
平均	118.8%	90.6%	87.5%	78.6%

※R3年度新設

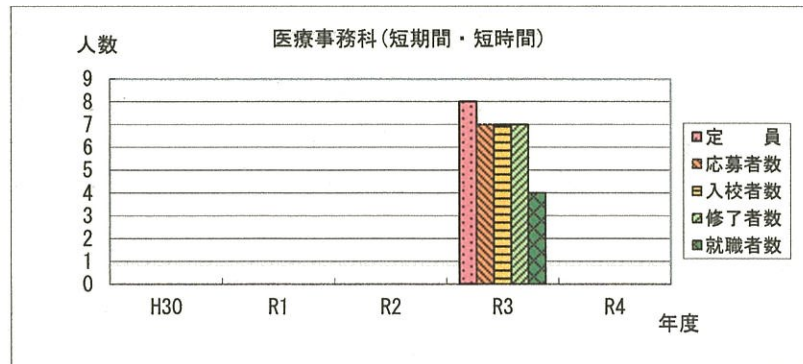


医療事務科(短期間・短時間)(2か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	-	-	-	-	-
R1	-	-	-	-	-
R2	-	-	-	-	-
R3	8	7	7	7	4
R4	-	-	-	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	-	-	-	-
R1	-	-	-	-
R2	-	-	-	-
R3	87.5%	87.5%	100.0%	57.1%
R4	-	-	-	-
平均	87.5%	87.5%	100.0%	57.1%

※R3年度途中追加設定

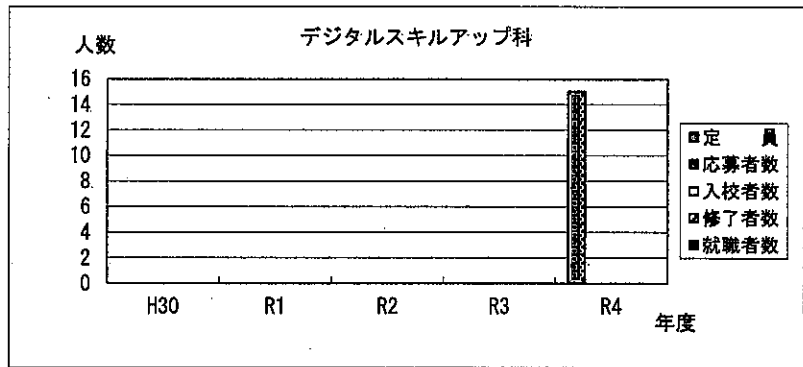


デジタルスキルアップ科(3か月)

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	-	-	-	-	-
R1	-	-	-	-	-
R2	-	-	-	-	-
R3	-	-	-	-	-
R4	15	-	-	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	-	-	-	-
R1	-	-	-	-
R2	-	-	-	-
R3	-	-	-	-
R4	-	-	-	-
平均	-	-	-	-

※R4年度途中追加設定(1月開講予定)



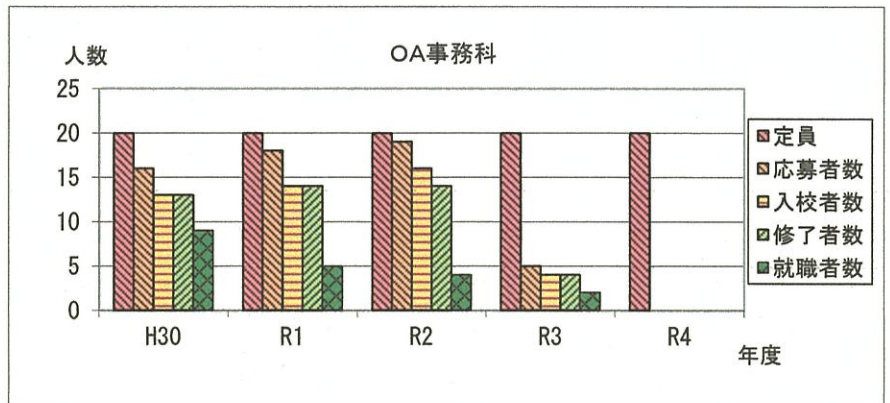
## 委託訓練【障害者対象】

### OA事務科（3か月）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	20	16	13	13	9
R1	20	18	14	14	5
R2	20	19	16	14	4
R3	20	5	4	4	2
R4	20	-	-	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	80.0%	65.0%	100.0%	69.2%
R1	90.0%	70.0%	100.0%	35.7%
R2	95.0%	80.0%	87.5%	28.6%
R3	25.0%	20.0%	100.0%	50.0%
R4	-	-	-	-
平均	72.5%	58.8%	96.9%	45.9%

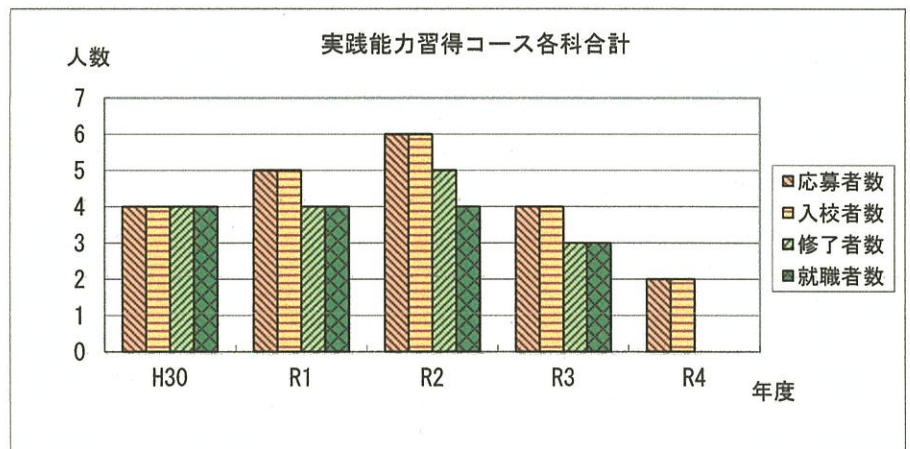
※R4未開講



### 実践能力習得コース（1～3か月）

入校年度	定員	応募者数	入校者数	修了者数	就職者数
H30	希望者	4	4	4	4
R1	希望者	5	5	4	4
R2	希望者	6	6	5	4
R3	希望者	4	4	3	3
R4	希望者	2	2	-	-

入校年度	応募倍率	入校率	修了率	就職率
H30	-	-	100.0%	100.0%
R1	-	-	80.0%	100.0%
R2	-	-	83.3%	80.0%
R3	-	-	75.0%	100.0%
R4	-	-	-	-
平均	-	-	84.6%	95.0%



\* 経理事務科、教務事務科、在庫管理科、清掃作業科、組立作業科、調理補助科、美装科、客室準備科、パン製造科、乾物製造科など



【令和3年度 在職者対象施設内訓練】

校名	訓練科名	昼夜の別	コース名	定員		受講者		修了者数	訓練開始年月日	訓練修了年月日	備考
				時間人		時間人					
高松	造園科	昼間	造園技術講習【中止】	6	72	/	/	/	/	/	2日間 12時間
	デザイン科		デザイン講習 (Photoshop CC講習)	10	120	10	120	10	R3.8.4	R3.8.6	3日間 12時間
	在職者訓練 (高松校/昼間) 計				16	192	10	120	10		
	建築システム科	夜間	Jw-cad技術講習 (基礎1)	10	120	10	120	10	R3.9.7	R3.9.16	4日間 12時間
			Jw-cad技術講習 (基礎2)	10	120	6	72	6	R3.10.12	R3.10.21	4日間 12時間
	在職者訓練 (高松校/夜間) 計				20	240	16	192	16		
在職者訓練 (高松校) 計				36	432	26	312	26			
丸亀	金属ものづくり科	昼間	ガス溶接技能講習A【中止】	20	280	/	/	/	/	/	2日間 14時間
			ガス溶接技能講習B【中止】	20	280	/	/	/	/	/	2日間 14時間
	情報ビジネス科		社会保険制度実務講習	15	180	15	180	13	R3.9.8	R3.9.22	3日間 12時間
	在職者訓練 (丸亀校/昼間) 小計				55	740	15	180	13		
丸亀	電気工事科	夜間	第二種電気工事士受験講習 (筆記)	30	720	30	720	25	R3.4.27	R3.5.27	8日間 24時間
			第二種電気工事士基礎講習 (技能)	15	180	15	180	14	R3.6.3	R3.6.15	4日間 12時間
			第二種電気工事士受験講習 (技能)	20	240	20	240	17	R3.7.1	R3.7.13	4日間 12時間
			第一種電気工事士受験講習 (筆記)	20	480	4	96	4	R3.9.2	R3.9.30	8日間 24時間
			第一種電気工事士受験講習 (技能)	20	360	14	252	14	R3.11.16	R3.12.7	6日間 18時間
	住宅建築施工科		Jw-cad講習 (基礎1)	18	216	10	120	9	R3.5.13	R3.5.25	4日間 12時間
			Jw-cad講習 (基礎2)	18	216	9	108	7	R3.6.17	R3.6.29	4日間 12時間
	パソコンCAD科		Auto CAD講習 (基礎1)	15	180	8	96	8	R3.7.20	R3.8.3	4日間 12時間
			Auto CAD講習 (基礎2)	15	180	8	96	8	R3.8.19	R3.8.31	4日間 12時間
	情報ビジネス科		簿記検定 (3級) 受験講習	15	450	15	450	12	R3.10.13	R3.11.5	10日間 30時間
			パソコン講習 (パワーポイント)	15	180	10	120	10	R3.7.6	R3.7.9	4日間 12時間
			パソコン講習 (Excelマクロ入門)	15	180	11	132	10	R3.10.5	R3.10.8	4日間 12時間
	ビル設備管理科			消防設備士 (乙種第4類) 受験講習	15	180	3	36	3	R3.7.27	R3.8.5
在職者訓練 (丸亀校/夜間) 小計				231	3,762	157	2,646	141			
在職者訓練 (丸亀校) 計				286	4,502	172	2,826	154			
在職者訓練 計				322	4,934	198	3,138	180			

## 高等技術学校丸亀校 電気工事科とビル設備管理科の統合について

### 1 電気工事科及びビル設備管理科の訓練概要

電気工事科及びビル設備管理科は高等技術学校丸亀校において、主に求職者を対象として以下のとおり職業訓練を実施している（裏面【参考1】参照）。

○電気工事科		○ビル設備管理科	
定員	20名	定員	各期10名
訓練期間	1年（10月入校）	訓練期間	6か月（4月・10月入校）
訓練内容	電気工事や電気制御に必要な知識と技能の習得	訓練内容	給排水・空調・電気設備に必要な知識や技能の習得

### 2 見直し案

電気工事科とビル設備管理科を統合し、以下の訓練科を新設する。

○電気設備科（仮称）	
定員	各期15名
訓練期間	6か月（7月・1月入校）
訓練内容	電気工事、電気制御、機械整備・修理に必要な知識と技能の習得

### 3 見直し理由

電気工事科及びビル設備管理科は両科ともに第二種電気工事士資格の取得を目指すという点で訓練内容に重複があるため、応募者が分散しており、近年の応募者数は両科とも定員を超えていない（裏面【参考2】参照）。このため両科を統合することで、両科の魅力を維持しつつ重複を解消するとともに、県内で人手不足感のある機械整備・修理の職業に対応した訓練カリキュラムを盛り込むことで、訓練生の職業選択の幅を広げるものとし、訓練効果と訴求力が共に高い訓練科とする。

厚生労働省職業分類		職業別求人・求職状況		
大分類	中分類	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率
J 建設・採掘の職業	72 電気工事の職業	196	78	2.51
E サービスの業種	41 住居施設・ビル等の管理の職業	238	68	3.50
H 生産工程の職業	60 機械整備・修理の職業	365	67	5.45

（香川労働局発表令和4年10月発表）

### 4 新設科の具体案

#### （1）訓練内容及び取得資格（裏面【参考3】参照）

若年層及び中年層が求められる電気工事及び機械整備・修理関連職種から、高年齢層向けの求人も比較的多いビル等の管理の職種まで、幅広い年齢層に対応した訓練カリキュラムとするとともに、以下の国家資格（及び国家検定）取得を支援することで、訓練生の就職に資するものとする。

- ・第二種電気工事士【国家資格】（電気工事関連）
- ・消防設備士乙種4類【国家資格】（住居施設・ビル等の管理関連）
- ・技能検定機械保全3級（電気系保全）【国家検定】（機械整備・修理関連）

#### （2）定員

若年層から高齢層まで幅広い年齢層の受講が想定されるため、安全面にきめ細やかな配慮を要することとなる。訓練の実施に当たっては安全面及び求職者ニーズを考慮する必要があるため、定員を15名×2期（現状の2科の合計定員の7割強）とする。

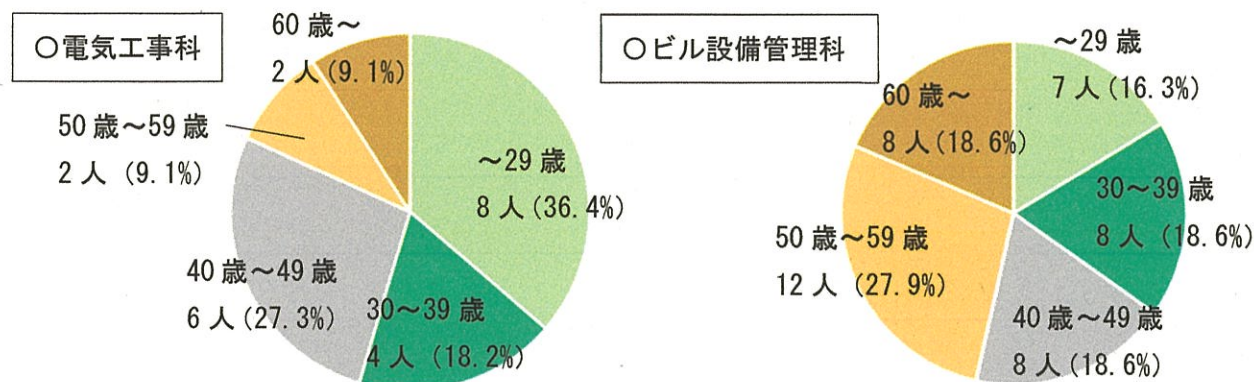
#### （3）訓練期間及び訓練開始月

早期の就職を目指すため訓練期間を6か月とする。また、各種国家資格（及び国家検定）の受験時期に合わせ、訓練開始月を7月・1月とする。



【参考1】電気工事科及びビル設備管理科の年齢層

- ・電気工事科は電気工事の職業を主な就職目標としている。第二種電気工事士資格の取得を目指すとともに、第一種電気工事士試験合格レベルの訓練カリキュラムとしている。過去3年間の修了者の半数を39歳以下が占めており、電気工事業界への若年人材の輩出に寄与している。
- ・ビル設備管理科は住居施設・ビル等の管理、電気工事の職業を主な就職の目標としている。これらの職業の求人は、高齢層向けのものも比較的多い。このこともあり、過去3年間の修了者の半数近くを50歳以上が占めており、高齢者の再就職支援に寄与している。



修了者の年齢層割合（過去3年間（令和元年度から令和3年度）総計）

【参考2】近年の応募状況

開講年度	科名	定員	応募者数	入校者数	応募倍率
令和4年度	電気工事科	20	13	12	0.65
	ビル設備管理科	20	16	16	0.80
	合計	40	29	28	0.73
令和3年度	電気工事科	20	11	9	0.55
	ビル設備管理科	20	18	16	0.90
	合計	40	29	25	0.73
令和2年度	電気工事科	20	10	10	0.50
	ビル設備管理科	20	18	16	0.90
	合計	40	28	26	0.70

【参考3】統合前後の取得資格

資格名称	電気工事科	ビル設備管理科	電気設備科(仮称)
技能検定機械保全3級(電気系保全)			○
第一種電気工事士	○		
第二種電気工事士	○	○	○
低圧電気取扱特別教育	○	○	○
消防設備士乙種4類		○	○
危険物取扱者乙種4類		○	○
ボイラー取扱技能講習		○	○
アーク溶接特別教育	○	○	○
ガス溶接技能講習	○	○	○
コンピュータ・サービス技能評価試験(表計算3級)	○		

↑電気工事  
↑電気工事  
↑ビル等の管理  
↑機械整備・修理関連  
↑ビル等の管理

## 高等技術学校高松校 自動車工学科における定員の見直しについて

### 1 自動車工学科の訓練概要

自動車工学科は高等技術学校高松校において、主に新規学卒者を対象として以下のとおり職業訓練を実施している。

定 員：25名

訓練期間：2年（4月入校）

訓練内容：二級（自動車・二輪）整備士に必要な知識と技能の習得を中心に、電気自動車やハイブリッド車等の最新技術も学ぶ

取得資格：二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル）、二級二輪自動車整備士

### 2 見直し案

令和6年度入校から、定員を現状の25名から20名に変更する。

### 3 見直し理由

#### （1）自動車業界における技術革新への対応の必要性

近年、自動車業界は安全性能の向上・環境負荷の軽減が強く求められており、それを実現するための技術革新が急速に進んでいる。訓練において、これら新技術を有した人材の輩出が求められることが予想されるが、そのためには以下のハード面及びソフト面の対応が必要である。

- ・ 新技術に対応する機器（衝突低減装置、自動運転装置、低燃費に関する装置等）の整備
- ・ 指導員と訓練生が相互に意見交換等を行う双方向型の授業を行うなど、きめ細やかな指導

このような機器整備及び指導手法を、現在の定員数で取り組むことは困難である。

#### （2）応募状況

現在の定員数（25名）を設定した平成16年当時、応募者数は定員の2倍前後あり、高校生の応募ニーズに対応するために見直したものである。しかし近年応募者数は減少傾向にあり、直近3か年でみると、令和4年及び令和2年において定員割れとなっている（下表1参照）。

#### （3）他県の職業能力開発校の状況

職業能力開発校における高卒対象2年課程の自動車整備関連訓練は、全国的には定員数20名が最も多い（下表2参照）。

以上を踏まえ、訓練ニーズや全国の定員を参考のうえ、令和6年度入校から自動車工学科の定員を20名に見直すこととする。

表1 応募状況

年度	定員	応募者数	入校者数
令和4	25	24	20
令和3	25	32	25
令和2	25	19	17
平成16	25	45	25
平成15	20	58	22

表2 他県の職業能力開発校の状況

定員数	校数
30名	7校
25名	8校
23名	1校
20名	42校
15名	6校

（「職業安定行政組織 職業能力開発行政組織及び施設一覧 令和4年度」参照）

## 高等技術学校在職者訓練における訓練コースの見直しについて

### 1 在職者訓練の訓練概要

在職者訓練は高等技術学校高松校及び丸亀校において、主に在職者を対象として、働きながら学びやすいように夜間を中心に2日間から10日間のコースを20コース設定している（別紙案内リーフレット参照）。

### 2 見直し案

高松校で実施している造園技術講習を廃止とする。

造園技術講習
定員：6名
訓練日数：2日間（12時間）
訓練内容：造園に携わる方を対象とした、竹垣、飛石の据え付けなどの庭園制作技術

### 3 見直し理由

造園技術講習は直近2か年（令和2年度及び令和3年度）応募者は0名であり、開講に至っておらず、受講者ニーズを踏まえ廃止することとする。

年度	定員	応募者数	受講者数
令和3	6	0	0
令和2	6	0	0
令和元	6	7	7



## 第 11 次香川県職業能力開発計画の概要

### 1 趣旨

人口減少・少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少による人材不足問題のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会全体のデジタル化の加速や職業人生の長期化・多様化など、労働者を取り巻く環境が大きく変化していく中、本県経済の持続的発展を図っていくためには、地域・産業ニーズと社会経済システムの変化を踏まえたと人材育成を行うとともに、「全員参加型社会」の実現に向けた多様な職業能力開発の機会を提供することが重要となっており、こうした人材の確保・育成を図るための職業能力開発に係る施策を計画的かつ効果的に進めるため、本計画を策定するものである。

### 2 計画の位置付け

本計画は、職業能力開発促進法（昭和 44 年法律第 64 号）に基づき策定するもので、国が策定した「第 11 次職業能力開発基本計画」の趣旨を踏まえつつ、県政運営の基本指針である「『みんなであつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」や戦略的な産業振興の指針である「香川県産業成長戦略」との整合性を図り、本県の職業能力開発施策の今後 5 年間の方向性を示すものとする。

（都道府県職業能力開発計画等）

第 7 条 都道府県は、職業能力開発基本計画に基づき、当該都道府県の区域内において行われる職業能力の開発に関する基本となるべき計画（以下「都道府県職業能力開発計画」という。）を策定するよう努めるものとする。

2 都道府県職業能力開発計画においては、おおむね第 5 条第 2 項各号に掲げる事項について定めるものとする。

3 都道府県知事は、都道府県職業能力開発計画の案を作成するに当たっては、あらかじめ、事業主、労働者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

4 都道府県知事は、都道府県職業能力開発計画を定めたときは、遅滞なく、その概要を公表するよう努めるものとする。

（略）

（職業能力開発基本計画）

第 5 条

（略）

2 一 技能労働力等の労働力の需給の動向に関する事項

二 職業能力の開発の実施目標に関する事項

三 職業能力の開発について講じようとする施策の基本となるべき事項

（略）

### 3. 計画の考え方

- 今後5年間に、県が実施すべき職業能力開発に関する施策等を明確にし、公共職業訓練や民間における職業訓練の推進を図るため、基本となるべき事項を定めるものとする。
- 本計画の策定に先立ち、職業能力開発に係る地域の実情、ニーズの把握のため、県内事業所、在職者、求職者等を対象に「職業能力開発基礎調査」(調査基準日：令和2年11月1日)を実施した。

### 4. 計画概要

#### ●香川の現状

##### 職業能力開発を取り巻く環境

- 人口減少に伴う労働力不足…平成11年の約103万人をピークに減少
- 求人・求職のミスマッチ…建設・土木、介護サービス等人手不足業種の顕在化
- 新型コロナウイルス感染症の影響の下での社会全体のデジタル化の加速
- 女性の年齢階層別有業率…M字カーブの底値は30代前半の72.4%
- 若年労働力人口が減少傾向にある中での若年無業者等の高どまり…フリーター136万人(R2年)、ニート69万人(R2年)(全国推計)
- 職業人生の長期化傾向…60歳から64歳までの就業率66.9%(※H29年就業構造基本調査(香川県分)から)
- 障害者の法定雇用率が未達…実雇用率2.08%(R2年)
- 外国人労働者の増加…10,422人(R2年)前年比2.4%増(R1年:10,174人)
- 事業所における技能継承の問題の有無…「ある」「今後発生する」を合わせると71.5%と高い(※R2年度職業能力開発基礎調査結果から)

#### ●課題と方向性

- 公共職業訓練における企業ニーズと訓練ニーズを踏まえた職業訓練の充実・強化
- 民間が行う人材不足分野における職業訓練への支援
- 社会のデジタル化に応じた職業訓練におけるデジタル人材の育成
- 非正規労働者に対する職業能力の向上を促進
- 女性に対する多様な職業訓練等の機会の提供と訓練環境の整備
- 若者等に対する早期就職、職業的自立に向けた支援
- 中高年の強みを発揮する職業能力開発の推進
- 障害者の障害特性やニーズに応じた環境の整備と効果的な職業訓練の実施
- 外国人技能実習制度の適正かつ円滑な推進
- 優れた技能の社会的評価や価値の向上、次世代技能者の育成と技能の継承
- 職業能力開発関係機関との連携強化と役割分担

#### ●基本方針

- 1 地域・産業のニーズと社会経済システムの変化を踏まえた職業能力開発の推進
- 2 「全員参加型社会」の実現に向けた職業能力開発の推進
- 3 技能の振興・継承の促進
- 4 職業能力開発実施体制の見直しと関係機関との連携強化



## ●職業能力開発の基本施策

### 1 地域・産業のニーズと社会経済システムの変化を踏まえた職業能力開発の推進

#### ① 公共職業訓練における訓練内容の充実・強化

- ・ 県立高等技術学校の施設内訓練や在職者訓練における企業ニーズと訓練ニーズを踏まえた訓練内容の充実・強化
- ・ 民間教育訓練機関を活用し、デジタル人材の育成など社会経済システムに対応した職業訓練と、介護など人材不足分野における職業訓練の充実・強化

#### ② 民間職業訓練に対する支援

- ・ ものづくりを中心とした職業訓練や人材不足分野のうち建設分野の職業訓練に対する支援

#### 【目標とする指標】

- 訓練修了生の就職率（委託訓練含む。） 令和2年度実績 79.1% ⇒ 80.0%（令和7年度）
- 訓練修了生の訓練関連就職率（委託訓練含む。） 令和2年度実績 58.7% ⇒ 65.0%（令和7年度）

### 2 「全員参加型社会」の実現に向けた職業能力開発の推進

#### ① 非正規労働者の職業能力開発の推進

- ・ 安定した就職を促進するための職業能力開発への支援

#### ② 女性の職業能力開発の推進

- ・ 女性が活躍するための職業能力開発への支援と訓練環境の整備

#### ③ 若者等の職業能力開発の推進

- ・ 県立高等技術学校における学卒者向け職業訓練の充実・強化
- ・ 地域若者サポートステーション等における若年無業者等への支援の強化

#### ④ 中高年齢者の職業能力開発の推進

- ・ 中高年齢者のキャリア形成や再就職に向けた支援

#### ⑤ 障害者の職業能力開発の推進

- ・ 障害者の障害特性やニーズに応じた効果的な職業能力開発への支援

#### ⑥ 外国人の職業能力開発の推進

- ・ 外国人技能実習制度に係る関係機関との連携と適正な職業能力開発への支援

#### 【目標とする指標】

- 女性入校率（委託訓練を含む。） 令和2年度実績 63.6% ⇒ 64.0%（令和7年度）
- 地域若者サポートステーションでの進路決定者数（過去5年間の累計） 令和2年度実績 433人 ⇒ 450人（令和7年度）  
(H28年度～R2年度までの累計) (R3年度～R7年度までの累計)

### 3 技能の振興・継承の促進

○優れた技能の社会的評価や価値の向上、次世代技能者の育成と技能の継承

- ・「ものづくりマイスター」等による子どもや若者へのものづくりの魅力の周知
  - ・優れた技能者や職業訓練功労者への表彰
  - ・技能検定制度の普及促進と適正な実施
- 全国技能競技大会への参加支援

【目標とする指標】

- 技能検定受検申請者数（基礎級を除く。） 令和元年度実績（※） 1,072人 ⇒ 1,200人（令和7年度）

※令和2年度における技能検定は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前期試験が中止となったため、令和元年度の実績を基本とする。

### 4 職業能力開発実施体制の見直しと関係機関との連携強化

① 県立高等技術学校の訓練内容の見直しとあり方の検討

- ・地域産業の訓練ニーズ等に応じた訓練内容等の見直しと指導体制の検討
- ・就労支援体制の充実と職場定着の促進
- ・職業能力開発施設としてのあり方の検討

② 関係機関との連携強化

- ・効果的な職業能力開発施策の実施に向けた国、香川県職業能力開発協会、業界団体、教育機関等との連携強化

●計画の期間 令和3年度から令和7年度までの5年間

●計画の進行管理 毎年、「香川県職業能力開発審議会」に報告し、点検・評価を実施

## 第11次香川県職業能力開発計画 数値目標(進行管理)

	目標項目	単位	基準値 (令和2年度)	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 目標値
1	訓練修了者の就職率 (委託訓練を含む)	%	79.1	77.9				80.0
2	訓練修了者訓練関連就職率 (委託訓練を含む)	%	58.7	63.1				65.0
3	女性入校率(委託訓練を含む)	%	63.6	61.7				64.0
4	地域若者サポートステーションでの 進路決定者数(過去5年累計)	人	433 (87/年)	373				450 (90/年)
5	技能検定受検申請者数 (基礎級等を除く)	人	1,072(※)	1,201				1,200

※令和2年度における技能検定は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前期試験が中止となったため、令和元年度の実績を基準値とする。

注) 1は、「みんなであつくるせとうち田園都市・香川」実現計画」における指標である。



## ○中四国各県の県立職業能力開発校の愛称設定状況

都道府県	正式校名	正式校名根拠	愛称の有無	愛称名	愛称設定年月
鳥取県	鳥取県立産業人材育成センター倉吉校	鳥取県立産業人材育成センター条例	無		
鳥取県	鳥取県立産業人材育成センター米子校	鳥取県立産業人材育成センター条例	無		
鳥取県	鳥取県立産業人材育成センター米子校	鳥取県立産業人材育成センター条例	有	ハレテク倉敷 ハレテク津山 ハレテク美作	平成20年4月
岡山県	岡山県立南部高等技術専門学校	岡山県職業能力開発校条例	無		
岡山県	岡山県立北部高等技術専門学校	岡山県職業能力開発校の名称、位置等に関する条例	無		
岡山県	岡山県立西部高等技術専門学校	岡山県職業能力開発校の名称、位置等に関する条例	無		
岡山県	岡山県立東部高等技術専門学校	岡山県職業能力開発校の名称、位置等に関する条例	無		
岡山県	岡山県立中央高等技術専門学校	岡山県職業能力開発校の名称、位置等に関する条例	無		
岡山県	岡山県立南部高等技術専門学校	岡山県職業能力開発校の名称、位置等に関する条例	無		
岡山県	岡山県立西部高等技術専門学校	岡山県職業能力開発校の名称、位置等に関する条例	無		
岡山県	岡山県立東部高等技術専門学校	岡山県職業能力開発校の名称、位置等に関する条例	無		
岡山県	岡山県立中央高等技術専門学校	岡山県職業能力開発校の名称、位置等に関する条例	無		
山口県	山口県立中央テクノスクール	山口県立職業能力開発校条例	無		
山口県	山口県立西部テクノスクール	山口県立職業能力開発校の設置及び管理に関する条例	無		
山口県	山口県立東部テクノスクール	山口県立職業能力開発校の設置及び管理に関する条例	無		
山口県	山口県立南部テクノスクール	山口県立職業能力開発校の設置及び管理に関する条例	無		
山口県	山口県立中央テクノスクール	山口県立職業能力開発校の設置及び管理に関する条例	無		
徳島県	徳島県立中央テクノスクール	徳島県職業能力開発校の設置及び管理に関する条例	無		
徳島県	徳島県立西部テクノスクール	徳島県職業能力開発校の設置及び管理に関する条例	無		
徳島県	徳島県立東部テクノスクール	徳島県職業能力開発校の設置及び管理に関する条例	無		
徳島県	徳島県立南部テクノスクール	徳島県職業能力開発校の設置及び管理に関する条例	無		
徳島県	徳島県立中央テクノスクール	徳島県職業能力開発校の設置及び管理に関する条例	無		
香川県	香川県立高等技術専門学校高松校	香川県立高等技術専門学校条例	無		
香川県	香川県立高等技術専門学校丸亀校	香川県立高等技術専門学校条例	無		
香川県	香川県立高等技術専門学校高松校	香川県立高等技術専門学校条例	無		
香川県	香川県立高等技術専門学校丸亀校	香川県立高等技術専門学校条例	無		
愛媛県	愛媛県立新居浜産業技術専門学校	愛媛県立産業技術専門学校条例	無		
愛媛県	愛媛県立愛媛中央産業技術専門学校	愛媛県立産業技術専門学校条例	無		
愛媛県	愛媛県立宇和島産業技術専門学校	愛媛県立産業技術専門学校条例	無		
愛媛県	愛媛県立高知高等技術専門学校	愛媛県立産業技術専門学校条例	無		
愛媛県	愛媛県立中村高等技術専門学校	愛媛県立産業技術専門学校条例	無		

## ○各都道府県立職業能力開発校における愛称設定状況(中四国以外)

都道府県	正式校名	正式校名根拠	愛称の有無	愛称名	愛称設定年月
北海道	北海道立高等技術専門学校	北海道立高等技術専門学校設置条例	有	MONOテク[◇◇] 例: MONOテク札幌	令和元年9月
北海道	北海道立高等技術専門学校	北海道立高等技術専門学校設置条例	有	テクノスクール鷹巣 テクノスクール秋田 テクノスクール大曲	不明
秋田県	秋田県立高等技術専門学校	秋田県立職業能力開発校条例	有	ちばテク〇〇校	平成28年度
秋田県	秋田県立高等技術専門学校	秋田県立職業能力開発校条例	有	かなテクカレッジ	平成19年7月
秋田県	秋田県立高等技術専門学校	秋田県立職業能力開発校条例	有	浜松テクノカレッジ	平成13年6月
秋田県	秋田県立高等技術専門学校	秋田県立職業能力開発校条例	有	テクノカレッジ米原 テクノカレッジ草津	平成16年6月 (平成21年4月改称)